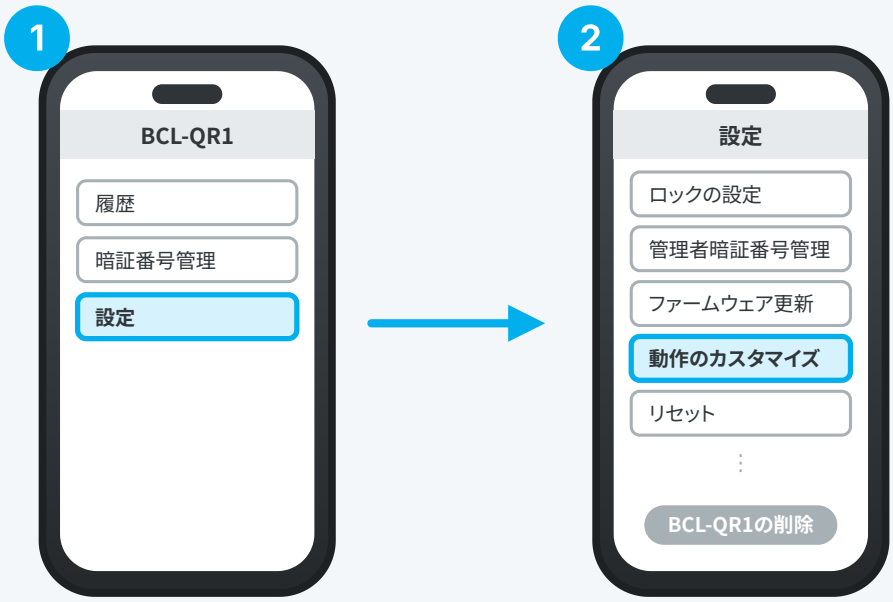


APP SETUP GUIDE

動作のカスタマイズ（高度な設定）と活用例

KEYVOX Basic の「動作のカスタマイズ(高度な設定)」で、QR1 にかざされた QR コードの扱いと、認証に成功したあとの動作を変えます。自社の QR コードをカギにする、QR1 を QR コードの読み取り機にして自社システムへ送る、本体に印刷された QR の遷移先を変える、の 3 つの活用例をまとめます。

MODELS
BCL-QR1 LE

DOCUMENT NO.
KV-A09

REVISED
2026年10月15日

WEB MANUAL

ABOUT THIS GUIDE

このマニュアルについて

KEYVOX Basic の「動作のカスタマイズ(高度な設定)」で、QR1 にかざされた QR コードの扱いと、認証に成功したあとの動作を変えます。自社の QR コードをカギにする、QR1 を QR コードの読み取り機にして自社システムへ送る、本体に印刷された QR の遷移先を変える、の 3 つの活用例をまとめます。

アプリ設定　QR1 LE

目安時間

約10分

用意するもの

- スマートフォン（KEYVOX Basic）
- パソコン（KEYVOX 管理画面「BACS」）

始める前に

- QR1 のアカウントへの登録とロックとのペアリングが終わっていること
- QR1 のファームウェアが最新に更新されていること
- 任意の QR コードを使う場合は、QR1 が Wi-Fi に常時接続できること（AC 電源で給電している場合）

目次

— ご使用上の注意 3
01 設定の意味を知る 4
02 活用例: 自社の QR コードをカギにする 6
03 活用例: 読み取った QR の内容を自社システムに送る 7
04 活用例: 本体に印刷された QR の遷移先を変える 8

記号の見方

注意 必ず守ること

守らないと、故障・やり直し・思わぬ動作につながることがあります。

補足 知っておくと役立つこと

作業のコツや、状況によって変わる点を説明します。

図の青い部分

作業する人が行う動きと、注目する場所を青で示します。

手順は改良に合わせて更新しています。最新版は表紙の QR コード、または keyvox.co/manuals/qr1-advanced からご覧いただけます。

SAFETY & HANDLING

ご使用上の注意

安全に、長くお使いいただくための注意事項です。取り付けの前に必ずお読みください。

警告
守らないと、火災・感電・けがにつながるおそれがあります。

注意
守らないと、故障や、解錠できなくなる原因になります。

お願い
長く安心してお使いいただくために。

警告 安全のために必ず守ること

- 本体・AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。
- 付属の AC アダプターと専用ケーブル以外は使わないでください。指定の電圧以外で使うと、発熱・故障の原因になります。
- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。ケーブルを傷つける・無理に曲げる・重いものを載せることも避けてください。
- 煙が出る・異臭がする・異常に熱いときは、すぐに電源（AC アダプター・電池）を外し、サポートへご連絡ください。
- 電気錠・自動ドアの制御盤への配線は、電源を切った状態で、電気工事の知識のある方が行ってください。

注意 非常時の備え

- 電池切れ・停電・通信の不調・故障に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。物理鍵は室内に置いたままにせず、すぐ取り出せる場所で保管してください。
- 電気錠・自動ドアでは、解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）を、メーカーまたは施工店と相談のうえご用意ください。
- 管理者暗証番号は第三者に知られないように管理し、初期の番号のまま使わないでください。

注意 設置する場所

- 仕様に記載の温度・湿度の範囲で、直射日光が当たらず、結露・氷結しない場所に設置してください。
- BR1・WD1 には防水性能がありません。屋内に設置するか、屋外では防水ボックスに収めてください。
- QR1 LE・BX1 は防水（保護等級5）ですが、水没や高圧洗浄には耐えません。BX1 の防水は扉を閉じた状態に限ります。
- Bluetooth・Wi-Fi は、金属の扉・コンクリートの壁・分電盤などで弱くなります。機器どうしは見通し 2m 以内を目安に設置してください。
- 電子レンジや他の無線機器の近くでは、通信が不安定になることがあります。

注意 電池について

- 新しい単三形アルカリ乾電池を使い、＋と－の向きを確かめて入れてください。
- 新旧の電池、種類やメーカーの違う電池を混ぜて使わないでください。交換するときは全部を同時に替えてください。
- 電池残量の通知が届いたら、早めに交換してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。
- 液漏れした電池には素手で触れず、拭き取ってから新しい電池に交換してください。

お願い 日常のお手入れ

- 汚れは、乾いたやわらかい布か、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどの溶剤や、研磨剤は使わないでください。表面や文字が傷みます。
- QR コードの読み取り窓とキーパッドは、汚れや水滴が付いたままにしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

お願い ご利用にあたって

- ファームウェアとアプリは最新の状態でお使いください。動作の安定化や不具合の修正が含まれます。
- 機器を譲渡・廃棄するときは、アカウントから機器を削除し、初期化してください。
- 廃棄するときは、電池を取り外し、お住まいの自治体の区分に従ってください。
- 保証の期間と条件は、製品に同梱の保証書をご確認ください。

STEP 01

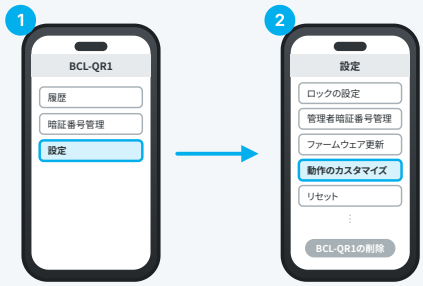
1 設定の意味を知る

「カギQRコードの設定」で QR コードの扱いを 1 つ選び、「認証後の動作」で認証のあとに行うことを選びます（複数選べます）。

1.1 設定画面を開く

1. KEYVOX Basic で、対象の QR1 の「・・・」（⋮）を押します。
2. 「設定」を押します。
3. 「動作のカスタマイズ(高度な設定)」を押します。

> ⚠ **注意** 高度な設定です。設定によってはカギで解錠できなくなったり、反応が遅くなったりします。変更する前に今の設定を控えておいてください。



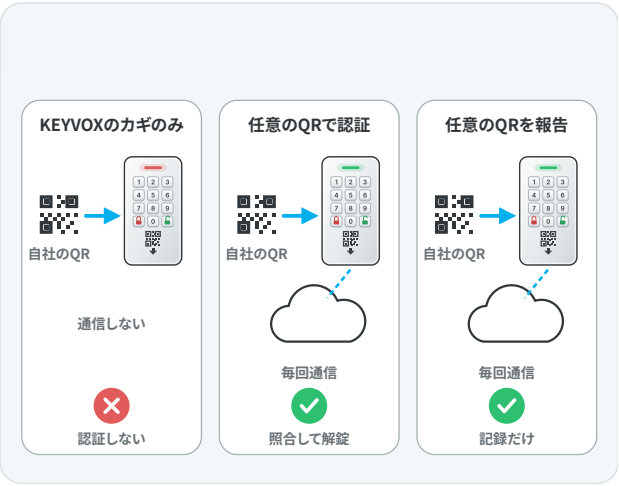
1.2 出荷時の設定を確かめる

出荷時は「KEYVOXのカギのみを認証する」と「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」が選ばれています。KEYVOXから発行したカギ（QR コード・暗証番号）は、カギQRコードの設定をどれにしても使えます。



1.3 カギQRコードの設定（3 つから 1 つ）

違いが出るのは、KEYVOX のカギ以外の QR コードをかざしたときです。



1. 「KEYVOXのカギのみを認証する」（出荷時）: 本体だけで認証し、通信は発生しません。数字だけの QR コードは暗証番号として照合し、それ以外は認証しません（赤い LED と失敗音）。
2. 「任意のQRコードで認証する」: BACS に登録した QR コードとクラウドで照合し、一致すればカギとして認証します。かざすたびに通信が発生します。
3. 「任意のQRコードをサーバに報告する」: 認証はせず、QR コードの内容をクラウドに報告します。かざすたびに通信が発生します。

> **補足** 「任意のQRコードで認証する」「サーバに報告する」は、かざすたびにインターネット経由でクラウドに問い合わせるため、Wi-Fi との常時接続が必要です。通信の分だけ反応に時間がかかります。

1.4 認証後の動作（複数選べる）

1. 「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」: ペアリングしている Bluetooth のロックを解錠します。外すと、緑の LED と成功音で知らせるだけになります。
2. 「クラウドに連携する」: 認証に成功するたびにクラウドへ通知し、BACS で設定した動作（Wi-Fi 方式のロックの解錠など）を行います。施錠ボタンを押したときも通知します。
3. 「クラウド連携後、結果をBCL-QR1のLEDランプ、サウンドに反映する」: クラウドでの動作の結果を待ってから、LED と音で成功・失敗を知らせます。

> **注意** 「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」と「クラウドに連携する」の両方を外すと、認証に成功してもどのロックも解錠されません。

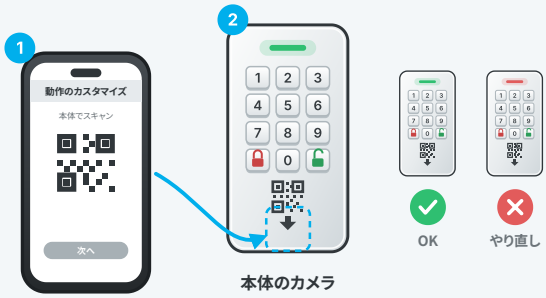
1.5 結果の反映の決まり

「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」にチェックがあるときは、Bluetooth のロックの解錠結果を知らせるので、「結果を…反映する」は選べません。Bluetooth を外して「クラウドに連携する」にチェックを入れると、「結果を…反映する」に自動でチェックが入ります。

> **補足** 「クラウドに連携する」を使うときは、BACS の「設定」>「デバイス」で QR1 の「詳細」を開き、「動作のカスタマイズ - クラウド連携」で動作と連携先を設定します。設定がないと、通知しても何も動きません。通知は Webhook の「クラウド連携」「クラウド連携（施錠ボタン）」として受け取ることもできます。

1.6 設定を本体に反映する

1. 設定を選んで「次へ」を押すと、設定用の QR コードが表示されます。
2. QR1 本体のカメラにかざします。
3. 緑の LED が点いたら「次へ(緑LEDが点灯した)」を押して完了です。



> **注意** 赤い LED が点いた場合は反映されていません。最初からやり直してください。今の設定は、BACS の「設定」>「デバイス」で QR1 の詳細を開くと確かめられます。

STEP 02

2 活用例: 自社の QR コードをカギにする

自社で発行している QR コードの文字列を、KEYVOX のカギに追加して使えるようにします。KEYVOX のカギはこれまでどおり使えます。

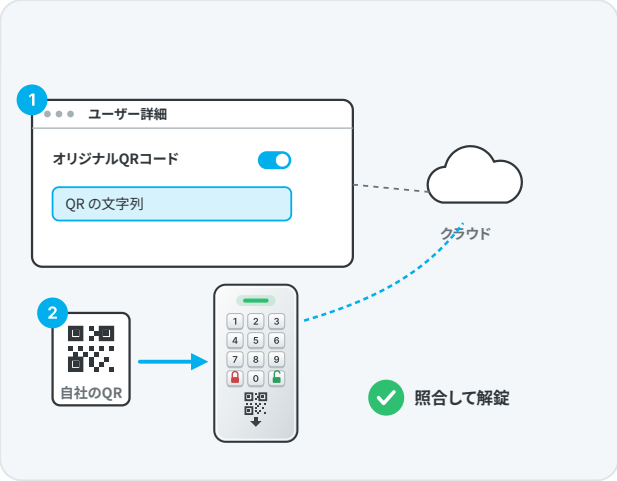
2.1 「任意のQRコードで認証する」に変える

1. 「動作のカスタマイズ(高度な設定)」を開きます。
2. カギQRコードの設定で「任意のQRコードで認証する」を選びます。
3. 認証後の動作は「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」のまま「次へ」を押します。
4. 表示された QR コードを本体で読み取り、緑の LED を確かめて完了します。



2.2 BACS でオリジナル QR コードを登録する

1. BACS の「設定」>「ユーザー・グループ」で、使う人（ユーザー）の詳細を開きます。
2. 「オリジナルQRコード」をオンにし、QR コードの文字列を入れて保存します（CSV の一括登録でも登録できます）。
3. 「アクセス管理」>「ユーザーアクセス」で、この QR1 を関連付けたドアへのアクセスを発行します。



> **補足** 入れられる文字列は UTF-8 で 200 バイトまでです。全角文字は読み取れないことがあるので、使う場合は先に動作を確かめてください。

STEP 03

3 活用例: 読み取った QR の内容を自社システムに送る

QR1 をカギとしてではなく、QR コードの読み取り機として使います。読み取った内容はクラウドに送るだけで、解錠には使えません。

3.1 「任意のQRコードをサーバに報告する」に変える

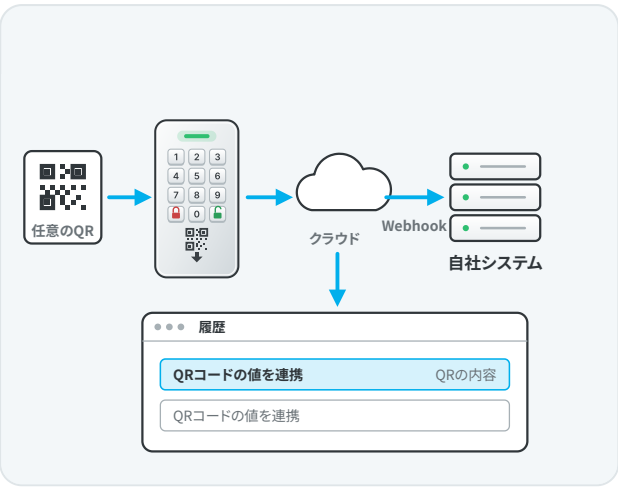
1. カギQRコードの設定で「任意のQRコードをサーバに報告する」を選びます。
2. 認証後の動作の「クラウドに連携する」にチェックを入れます。
3. 「次へ」を押し、表示された QR コードを本体で読み取って、緑の LED を確かめます。



> **注意** 「クラウドに連携する」にチェックがないと報告されず、かざすたびに失敗音が鳴ります。この設定では「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」は表示されず、Bluetooth のロックは解錠されません。

3.2 読み取った内容を確かめる

読み取った QR コードは、BACS の「履歴」に種別「QRコードの値を連携」として記録され、内容はユーザー欄に表示されます。Webhook を設定すると、同じ履歴を自社のシステムに送れます。



STEP 04

4 活用例: 本体に印刷された QR の遷移先を変える

本体の QR コードをスマートフォンで読み取ったときに開くページを、施設のご案内などに変えられます（オプションサービス）。

4.1 対応している本体か確かめる

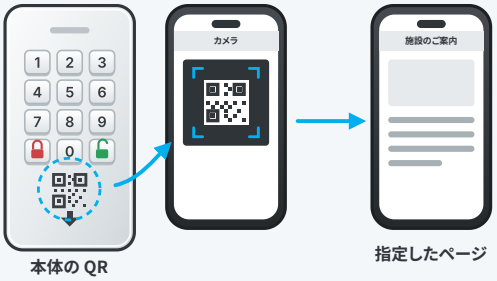
本体に印刷された QR コードをスマートフォンで読み取り、「https://link.keyvox.co/QR1/…」の形の URL が出る本体だけが対象です。それ以外の形の URL や、URL でない場合は使えません。

> ⚠ **注意** 一部の機種だけの機能です。非対応の機種はサポートの対象外です。

4.2 BACS で遷移先の URL を指定する

1. BACS の「設定」＞「デバイス」で、対象の QR1（または BX1）の詳細を開きます。
2. 遷移先の URL を入れて保存します。
3. 本体の QR コードを読み取り、指定したページが開くことを確かめます。

> ℹ **補足** 指定がない場合は、KEYVOX サービスのページが開きます。



SUPPORT

手順でわからないことは、
サポートまでご連絡ください。

取り付け後の確認のご依頼や、機器の動作でお困りのときも、サポートポータルからお問い合わせいただけます。

サポートポータル

お問い合わせ・取り付け確認のご依頼

support.keyvox.co

Web 版マニュアル

最新の手順・PDF のダウンロード

keyvox.co/manuals

・本書の内容は改訂日時点のものです。製品の改良により、仕様・画面・手順は予告なく変わることがあります。
・本書の図はイラストです。実際の製品と細部が異なる場合があります。
・記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

keyvox
ブロックチェーンロック株式会社

KV-A09　REV. 2026.10.15
© 2026 ブロックチェーンロック株式会社